

栄研化学株式会社サステナビリティボンド

1. 対象事業

当社は、消化器がんのグローバルブランド確立、三大感染症の診断システムを実現するための基盤技術の創造、付加価値の高い製品開発、品質・コストを追求した生産技術の確立を目的として、野木事業所に新研究棟を設立し、現在分散している研究拠点を一か所に集約することを予定しております。

また、当社では、すべての事業活動において「省エネルギー」、「省資源・廃棄物の削減・リサイクル」、「環境 配慮型の製品の提供」を通じた環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。

当該方針のもと、環境・社会双方の課題解決に資する事業を更に推進していくための資金調達を目的として、栄研化学サステナビリティボンドの発行により調達いたしました。調達した資金は、新研究棟の建設資金に充当いたします。

対象事業	事業概要	概要・期待される効果
新研究棟建設 	Covid-19、世界三大感染症である結核やマラリア等の研究によりグローバルにおける社会課題の解決に資する検査薬の研究開発を行うことができ、グローバルヘルスの向上と健康寿命の延伸に貢献する研究所の建設。	グリーンビルディング認証を取得し、環境性能を担保しています。CASBEE建築（新築）におけるSランクを取得。

2. 栄研化学サステナビリティボンド（概要）

名称	栄研化学株式会社第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）
発行日	2021年10月19日
条件決定日	2021年10月13日
発行年限	5年
発行総額	30億円
資金使途	新規研究棟建設資金の一部に充当予定
プレスリリース	当社初のサステナビリティボンドの発行条件決定に関するお知らせ 当社初のサステナビリティボンド発行に関するお知らせ
社債格付	株式会社日本格付研究所 BBB+

2. 適合性に関する第三者評価等

(1) セカンドパーティ・オピニオン

当社は、サステナビリティボンドの発行にあたって、国際資本市場協会（ICMA）が定める「グリーンボンド原則（GBP）2021」「ソーシャルボンド原則（SBP）2021」「サステナビリティボンド・ガイドライン（SBG）2021」「環境省グリーンボンドガイドライン（2020年版）」「環境省グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2020年版）」に即した栄研化学株式会社・サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定しました。

株式会社日本格付研究所より、本サステナビリティファイナンス・フレームワークについて、グリーンボンド原則（GBP）2021、ソーシャルボンド原則（SBP）2021、サステナビリティボンド・ガイドライン（SBG）2021、環境省グリーンボンドガイドライン（2020年版）及び環境省グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2020年版）への適合性を確認するための外部評価を取得しました。

(2) グリーンボンド発行促進体制整備支援事業

本社債の発行にあたって第三者評価を取得するに際し、グリーンファイナンス推進機構より環境省の令和3年度「グリーンボンド発行促進体制整備支援事業」の補助金交付対象となることについて交付決定通知を受領しております。

3. 投資表明投資家一覧（五十音順）

株式会社愛知銀行

愛知信用金庫

旭川信用金庫

アセットマネジメントOne株式会社

アルプス中央信用金庫

茨城県信用農業協同組合連合会

岩手県医師信用組合

大田原信用金庫

観音寺信用金庫

北おおさか信用金庫

釧路信用金庫

さわやか信用金庫

しのめ信用金庫

巣鴨信用金庫

SOMPOアセットマネジメント株式会社

大同火災海上保険株式会社
太陽生命保険株式会社
高山信用金庫
東京海上アセットマネジメント株式会社
長野信用金庫
新潟信用金庫
日新信用金庫
富士信用金庫
三重県信用農業協同組合連合会
三島信用金庫
三井住友海上火災保険株式会社
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
宮崎県信用農業協同組合連合会
両備信用組合

4. レポーティング

栄研化学サステナビリティボンドに関する資金充当状況と環境改善効果については、最新の年次レポーティングをご覧ください。

以上